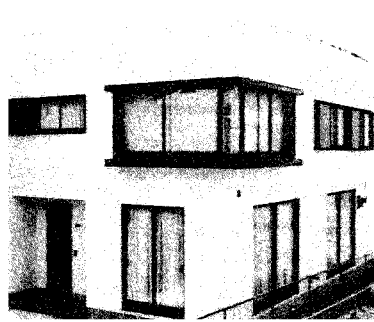


乙女たちの夢の址

県立谷村高等女学校記念碑建立
明治三十七年、地域の女子教育を高揚することを目的に、町立谷村女子補習学校という名称でスタートした谷村高等女学校は、その後昭和二十五年、県立谷村高等女学校に統合されるまでの約半世紀の間、学制改革により、名称は様々に変わりましたが、「正直をもって一生を貫け」の校訓をモットーに、一貫した理想教育を実践してきました。

昭和三年に、現在の市役所所在地に、新校舎が落成し、幾多かの才媛を世に送り出した訳ですが、最近になって、卒業生の間から、このなつかしい学舎の址を記録に留めたい、という意見が出てきました。同窓会有志が話し合いを重ねた結果、市役所前庭に記念碑を建てることになりました。さっそく役員会の方々が、県内



第一回工業展

盛況裡に閉幕

去る四月十七日、十九日の三日間に亘り、文化会館において第一回の都留市工業展が開催されました。これは、市内で生産されている繊維製品及び機会金属製品を一室に展示し、各々の製造技術の向上と市民の地元工業への認識を深めることを目的として、市と商工会が主催し、これに業界の全面



的協力があつて初めて実現した画期的な催しでした。

市内の繊維業界から二十八社一二〇点、機械金属業界から五十一社三〇〇点の製品と都留技能専門学院生の作品が展示されて連日盛況のうちに工業展はその幕を閉じました。なお、期間中の入場者は千五百数十名で、このうちには都留技能専門学院生ら六十三名、谷村工高繊維科生徒ら八〇名なども含まれ、他に郡内市町村からの観客が訪れて熱心に製品を観覧しました。

なお、工業展は第一回をジャンプ台として、より一層の発展を目的に新製品の開発を推進し、第二回以降も順次開催してゆく予定となっております。

信玄公祭り

「甲州軍団出陣」に参加

今年で五回目を迎えた信玄公祭りのハイライト「甲州軍団出陣」

きるようになっていきます。

つぎに、市民の日常生活に絶対欠くことのできない水道施設の整備として、小形山地区の東都簡易水道と古宿小規模水道との統合整備、宝地内、加畑、平栗、厚原の三地区に完成した宝南水道などがあります。

このように、年金の環元融資によって、市民の命と生活を守るための施設は、着実に前進しています。



が去る四月十一日、甲府市の平和通りを中心に行なわれ、当市からは都留市消防団禾生分団が選りすぐった精鋭四十二名の編成によって武田一番隊「飯富兵部少輔虎昌隊」として参加しました。市内の大神宮において出陣祈願をすませ、高部市長の激励の言葉を授け、勇躍して一路舞鶴城址をめざして軍団集結の途につきました。

舞鶴城址に集結した各隊は点呼を受け、出陣式典があつたのち、軍団は甲府駅前設置された武田本陣へ移動、「三献の儀」など一連の儀式のあと信玄公の出陣の下知により、都留市が担当した一番隊を先頭につぎつぎと武田二十四将が進発しました。また、行軍の中ほどには八王子市から特別参加した松姫隊の女武者が錦上華を添え、平和通りを南進したのち、舞鶴城址にて戦勝報告をして無事都留市に帰着しました。

出陣に際し、市民の皆さま多数から寄せられたご声援と激励に対しまして心から感謝申し上げます。

年金積立金還元融資を受けて 各種生活基盤の整備順調に進む

昭和五十五年度も、市民の生活に密着した、いろいろな公共施設が、年金の融資によって完成しています。

まず、市民の健康を守るための施設として、一昨年オープンした都留診療所に、医療機器の高度化による診療効率を促進するため、

外の同窓生に働きかけ、記念碑建立の寄附金を募りました。千人を超す同窓生から、募金が集まり、事業は順調に進み、五月二十四日、約三百名の来賓を招待するなかで、盛大に除幕式が挙行されました。スウェーデン産の赤色花崗岩（御影石）に刻み込んだ校歌は、周りの植栽に、みごとに調和しています。

式典参加者は、過ぎし青春の楽しい日々を懐かしみ、感慨深げにこの記念碑を見つめていました。

各種生活基盤の整備順調に進む

昭和五十五年度も、市民の生活に密着した、いろいろな公共施設が、年金の融資によって完成しています。

約九百五十万円を投じて、血液ガス分析機を始めとする機器の購入を行いました。さらに、医師の宿直勤務による疲労を解消させるため、診療所裏地に、約二千八百六十万円の事業費で、医師住宅の建設を行いました。この建物は木造二階建てで、二世帯が居住で